

企画展示（収蔵品から）

国宝「本山寺本堂」の建築部材展

令和2年7月1日（水）から8月31日（日）までの期間に、さぬき市前山にあるおへんろ交流サロンへんろ資料展示室において、四国八十八ヶ所霊場第70番札所本山寺（三豊市豊中町）の「本堂」等の建築部材の展示をします。

「本山寺本堂」は桁行五間、梁間五間、寄棟造、向拝三間、本瓦葺の建物で、文化庁の国指定文化財等データベースの解説文には「正安二年（1300）の建立で、密教本堂の好例で、意匠面白く、内部厨子も優秀である。」とあり、昭和30年（1955）6月22日に国宝に指定されています。

展示する建築部材は本堂の柱材と境内にある入母屋造の建造物に使用されていた懸魚で、高松市在住の個人から、当館が寄贈を受けたものです。柱材は昭和27年（1952）～30年（1955）にかけて解体修理した際の不要になった柱の一部です。

期 間 令和2年7月1日（水）～8月31日（日）

開館時間 7：30～16：00

場 所 さぬき市前山936 おへんろ交流サロン へんろ資料展示室

展示解説 令和2年7月12日（日）13：00～14：00

令和2年8月 9日（日）13：00～14：00

展示期間中、上記2回、展示解説を行います。

そ の 他 入館無料。入館の際にはマスクの着用をお願いします。



本山寺本堂



本堂柱材